

えみちゃんレポート No12

茨城県政報告

2014年4月30日発行



茨城県議会議員 設楽詠美子(しだらえみこ) 住所 筑西市二木成993
電話 24-9119 FAX 48-8022

春の陽ざしがこちよ季節となりました。

娘は小学校に入学し、はじめての朝をおかえ、はじめてのお友達、はじめての先生、はじめてのランドセルとはじめてばかりの日々にあふれております。このはじめての毎日は、娘ばかりでなく、私もはじめてのことばかりでドキドキわくわくしながら、成長させてもらっています♪

平成26年は、保健福祉委員会と安心安全を実感できる地域づくり委員会のメンバーとして活動をしてまいります。

「これからもワーママ(働くママ)の1人として、地域を元気にします！」



第一回定例議会で質問しました！【質問者】

1. 地域医療の充実について

- (1) 命をつなぐ新中核病院の建設【知事】
- (2) 自宅で生涯をまっとうできる在宅医療・介護の充実【保健福祉部長】

2. 夢と希望いっぱいの県西地域のまちづくりについて【知事】

3. 全国障害者スポーツ大会の本県開催に向けた選手の育成について【保健福祉部長】

4. 教育行政について

- (1) 高校におけるライフプランニングの授業の充実【教育長】
- (2) 問題行動のある子どもたちを地域で育てる体制づくり【教育長】

5. ストーカーやDV等に悩む女性への支援の充実について【警察本部長】

6. 農業の災害対策の対応について【農林水産部長】



手作りのさをり織りスーツを着ています。

平成26年の重点政策に「女性の輝く茨城づくり」が策定されました

平成25年の第一回定例議会で男女共同参画に関し、女性への支援を特出しにしてほしいと知事に質問させていただきました。

今年、女性の支援が茨城県の重点政策の中に位置付けられました！女性が輝く社会は、とっても元気になる！という、多くの研究の成果が発表されております。



女性医師の確保のために茨城県医師会とファミリーサポートセンターの連携事業がスタート！（県予算2,961千円）

女性医師を確保するためには、子育てしながら安心して働き続けられる環境が不可欠です！茨城県医師会と各市町村のファミリーサポートセンターの連携事業がスタートします。病院から急に呼び出された時も、ファミリーサポートの協力会員がいつでも対応できるようになります。

筑西ファミリーサポートセンター まんま 奮闘中！

筑西市は100人以上の会員をこえ、平成26年3月の実績では、延べ46.5時間、26名ものご家族が利用しております。しかし、筑西市の今年度の当初予算はゼロ！

茨城県は、筑西市からのGoサインが出たらいつでも予算措置ができるよう準備しております！



新中核病院の建設のため25億円の予算確保にむけて！



保健福祉委員会で医療対策課長に質問しました！

新中核病院は、筑西市が単独で300床を目指す病院を建設することが決定しております。しかし、予算は13億円しか使うことができないときいております。残りの12億円も筑西・下妻医療圏のために使っていただきたいと考えておりますが、どのような予定となっておりますか？

ご答弁「国からは返せといわれたら返さざるを得ませんが、12億は茨城県のために使いたいと個人的には考えています！」
→「引き続き、筑西・下妻医療圏のために使えるよう働いてまいります！」

新中核病院のスケジュール(案)

病院の企画を行うコンサルタント会社「(株)病院システム」の基本構想と建設推進委員会(仮称)の構想をすり合わせながら、基本計画をつくっていきます。その後、基本設計、実施設計と続き工事に入ります。

	H26. 3月	H26. 5月	H26. 10月	H26. 11月 ＼ H27. 3月	H27. 4月 ＼ H28. 3月	H28. 4月 ＼ H29. 3月	H29. 4月 ＼
企画者	「病院システム」に決定	建設推進会議のメンバーを選出					
基本構想	→						
基本計画			→				
基本設計					→		
実施設計						→	
工事							→

ポイント

- 1：建設推進委員会の人選は重要です。医師・看護師等が確保でき、民間的な運営のできる人選が求められます。
- 2：建設予定地は、6月の筑西市議会で議論される予定です！

保育士の確保は、地域にとって重要！（県予算13,487千円）

茨城県の保育士不足は、地域にとってとても深刻な問題です。県内には、14,379人(65.3%)もの潜在保育士があり(平成24年)ます。半数以上の保育士は資格を持ち働いていない状況です。

地域の宝物である子どもたちの母親代わりとして、命を預かる大変な仕事にも関わらずお給料に反映されていないことが指摘されております。潜在保育士の皆さんに手紙をだし、アンケートなどを行い、再就職を促す試みがスタートします！ワーママ等を応援できるよう保育士の確保のために積極的に取り組んでおります！



教育行政について質問をしました！

問題行動のある子どもたちを地域で育てる体制づくり

茨城県の中학생や高校生の問題行動、特に暴力行為は県内半数以上をこえる学校において発生、全国で8位(5.9件/1000人)と高く、増加の傾向にあります(平成24年度)。

問題行動の背景が複雑であることから、学校と地域の連携を深め、子どもたちを地域で育てる仕組みづくりが重要であると考えますが教育長のご所見をお伺いします。



【教育長】

児童生徒の問題行動に対して、きめ細かく指導を行うために生徒指導担当の教員の加配措置をするとともに、すべての小・中・高等学校にスクールカウンセラーを派遣し指導体制の充実を図っております。

学校・家庭・地域社会が一体となって子どもたちを育てていくことが不可欠であると考え、今後とも一層の体制づくりに努めてまいります。

【報告】

少人数学級が大きく前進(783,290千円)！

少人数学級(35人以下)とティーム・ティーチングによる茨城県独自の教育システムが小学校5・6年生まで広がりました(平成26年度)。

茨城県教職員組合の皆さんと1万人もの署名を集め要望活動(平成25年10月)を行った結果ができました。



市内小学校(5年生)

災害でも安心の農業の体制づくりについて

2月14・15日の大雪などによる農業被害は、約11億円に上りました。筑西市では、約400棟のハウスが倒壊して、県内の被害の6割を占め被害総額は3億円以上になっております(2月17日現在)。

茨城県は、4月18日までに詳しい被害状況を各市町村に提出いただき精査を行っている状況です。「高齢なので借金をしてハウスを建て替えるなら、やめるしかない・・・」

以上の多くの声がきかれました。JA北つくばからは、災害の際に農業者の皆さんに充実した支援に関する要望者をいただきました。補助は、最終的に以下のように決定しました。

ハウスの再築・修繕 国1/2・県2/10・市2/10 ※自己負担は1/10

ハウスの撤去 国1/2・県1/4・市1/10 ※自己負担はありません



元農林水産大臣
郡司参議院と視察

さらに、改植に必要な苗木代、果樹棚、未収益期間に必要な肥料・農薬代などの補助もあります。筑西市農政課・県西農林事務所詳しくはお問い合わせください。

※災害時は必ず写真を撮り、詳しい状況をご報告できるようにしてください！
補助をいただくときに重要です。

お知らせ

- ①スピカビルの基本構想が筑西市より提案！5月13日までパブリックコメントを実施中です。市のホームページ、もしくはスピカビル利用促進対策室で閲覧できます。
- ②えみちゃんレポートNo.11の在宅医療・介護の連携促進事業費の単位訂正 万円 → 千円 大変、ご迷惑をおかけしました。

障がい者スポーツに関する質問をしました！

全国障害者スポーツ大会の本県開催に向けた選手の育成について

茨城県において、2019年には国体、そして、全国障害者スポーツ大会、2020年には、オリンピック・パラリンピックが開催される予定となっています。国体においては、すでに筑波大学と連携した取り組みや、有名なスポーツ選手を講師に招き、スポーツの裾野を広げる取組がはじまってあります。

しかし、障がい者スポーツについては、選手の発掘や強化は遅れており、環境が整っていないことや指導者の不足など多くの課題が残されております。パラリンピックに関しては、トップ選手を支援する「マルチサポート戦略」の対象に障がい者が加わります。

国体と同様に、筑波大学等と連携するなど、競技者の裾野を広げ、選手の育成が必要であると考えますが保健福祉部長のご所見をお伺いします。

【保健福祉部長】

茨城県では、障害のない方と同じように生活を送ることができる「ノーマライゼーション」とあらゆる分野に参加が確保される「完全参加」を目指しております。

茨城県での本大会の開催は、障がい者スポーツの更なる振興と障がい者に対する理解を深めるのに大きく貢献すると考えます。国体開催に向けた取り組みと連携しながら積極的に、障がい者スポーツのすばらしさを茨城から発信してまいります。



全国障がい者スポーツ大会の様子

第一回定例議会で、民主党・自民党・自民県政クラブ・公明党が力を合わせて議員提案として、



障がい者の雇用
(封筒づめ作業)

「障害のある人もない人も共に歩み、幸せに暮らすための茨城県づくり条例」を制定！

全国で8番目、関東地方では千葉県に次いで2番目にできました。茨城県の民間企業における障がい者の雇用率が全国ワースト3位(1.66%)と低いので、条例の中の特に雇用の部分に力を入れていただき条例づくりを行いました。

これからも、みなさまの声を聞きかせてください！

●意見交換や県政報告会を随時受け付けております。

しだらえみこ事務所 茨城県筑西市二木成993

TEL 0296-24-9119 FAX 0296-48-8022

Email : eshidara@peach.plala.or.jp

HP : <http://www9.plala.or.jp/eshidara/>

Facebook 更新中：[しだらえみこ](#) 検索

※えみちゃんレポートは議会終了後に新聞に折り込んでおります。

バックナンバーが必要な方は、ご連絡くださいね♪



娘の桃がかいた絵です。